

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念について話し合い、共有して実践につながるような取り組みに期待したい。	利用者のADL状況等、日々、現状維持は難しくなってきますが、グループホームのあり方のひとつである、「家での生活の延長にある場所」という事を意識し、理念の改定を行う。	・ひと月に一度のミーティングの際、職員全員の意見を集い、新しい理念を推考し、改定する。 ・認知症共同生活介護について、理解を深める勉強会を行う。	3ヶ月
2	33	終末期に向けた事業所の方針を明文化し、家族、職員が共有出来る取り組みに期待したい。	・「終末期ケア」についての、ミーティングや勉強会を開催して、事業所の方針・指針を再度構築する。	・訪問医や看護師から体験談や考え方などを参考にしてマニュアルを見直す。 ・家族とも3ヶ月に一度は話し合いを持ち再確認を行い、意識の共有を図る。	6ヶ月
3	35	住宅密集地のため、実際に利用者、近隣住民とともに避難訓練ができる様、声掛けし協力体制を築けるよう期待したい。	・避難訓練の際は、近隣住民にも参加して頂けるよう、利用者と地域の関係作りを意識して交流する。	・地域包括の運営する認知症カフェに出向き、地域の方とのコミュニケーションを図る。 ・運営推進会議を開催する際、積極的に地域住民の参加を集い、避難訓練の話題に触れる。 ・施設内で発足している防災対策委員会を中心に近隣の方に声掛け行う。	9ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。